ひと（HITO） 響きあう 宝島 平戸

広報ひらど - Hirado City Public Relations -

HIRADO 8

August 2015
No.119

Congratulations! 平戸市は10月1日に合併10周年

度島の未来を明るく照らすために

度島の集落支援員として奮闘中！

Hirado city Public Relations
2015.8 No.119
広報ひらど 平成27年8月号

未来が変わる。日本が変える。チャレンジ25
平戸市地方創生チャレンジ25キャンペーンに参加しています。

古紙配合の再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK 大豆油インキを使用しています。

［編集・発行］平戸市行革推進課 〒859-5192 長崎県平戸市岸の上町1508番地3
■TEL／0950-22-4111（代） FAX／0950-22-5178
■URL http://www.city.hirado.nagasaki.jp/ ■E-mail kouhou@city.hirado.lg.jp
■印刷／有限会社ケンホクプリント

◎今月の表紙

森（もり） 健司（たけし）さん （31歳）
度島町

度島診療所のリニューアルに伴い、併設された「ふれ愛センター度島」に事務局をもつ【度島地区まちづくり運営協議会】の集落支援員が、森健司さんだ。

市内の高校を卒業後、東京で11年間生活した後、地元度島で集落支援員の募集を知り、度島を盛り上げていきたいと、申し込みました。

集落支援員の業務は、協議会の事務局として、地域の巡回、住民ニーズの調査・把握、毎月発行の度島新聞の取材・発行などさまざまで、毎日島内を駆け回っています。この業務に携わって感じたことは「今まで問題を解決するために何年もかかっていたことが、協議会発足後は、全島民で話し合い、課題を共有し対策を考えることで、解決にスピード感が出てきました。このような取り組みを推進し、今後は島民みんなが生き生きと楽しい生活が送れるような島にしたい。現在、仕事の傍ら国指定重要無形民俗文化財の平戸神楽の習得にむけて奮闘中で、一緒に島を盛り上げてくれるパートナー（彼女）も絶賛募集中です」と、爽やかに話してくれました。